

保育料完全無償化へ

保育料無償化の対象を現在の2歳児から、0歳児・1歳児まで拡大し、令和7年4月分から保育料を完全無償化します。
詳細については、こども未来課 保育係まで問い合わせください。

無償化の対象児
本市の保育認定を受けた子どもが対象です。＊保育認定を受けるには、申請が必要です。



在宅育児応援クーポン事業を拡充しました

在宅育児応援クーポンとは、0歳から2歳のお子さんを在宅で育児している保護者を対象に交付する、子育て支援サービスに利用できる15,000円分のクーポンです。4月から、次のとおり、事業を拡充しました。

- 所得制限の撤廃**
これまで交付要件としていた所得制限を撤廃することで、0歳から2歳のお子さんを在宅で育児している方全員が対象となりました。
- 対象サービスの追加**
対象サービスをいくつか追加し、クーポンが利用しやすくなりました。今回、追加したサービスは次のとおりです。



- ・絵本、児童書 購入費（吉野川市内の店舗購入分に限り）
- ・おえっこスポーツクラブ 教室参加費
- ・とくしま動物園 入園料
- ・あすたむらんど 利用料（子ども科学館・プラネタリウム・木のおもちゃ美術館に限り）
- ・こども誰でも通園制度 利用料
- ・子育て世帯訪問支援事業 負担金
- ・産後ケア事業 負担金（訪問型・通所型・宿泊型）

「こどもまんなか応援サポーター」を宣言しませんか？

「こどもまんなか応援サポーター」とは
子どもたちにとって何がもっともよいことを常に考え、子どもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組んでいただける個人、団体・企業・自治体などのことを指します。

本市は、令和5年5月26日に「こどもまんなか応援サポーター」を宣言し、子どもや若者の意見を聴き、子どもや若者にとって良いことは何かを考え、「こどもまんなか社会」の実現に向け、取り組みを開始しています。
この取り組みの趣旨に賛同いただける企業・団体などの皆さんにおかれましては、「こどもまんなか」の機運が高まるよう、こどもまんなかアクションを広げていきましょう。なお、本市では、SNSなどの発信の有無に関わらず「こどもまんなか応援サポーター宣言」をされた企業・団体の皆さんを随時紹介します。
詳しくは、市ホームページをご覧ください。

【取り組み内容】

- こどもまんなかアクションの例
 - ・子連れ優先席、キッズコーナー、授乳スペースなどを作る
 - ・従業員の育児取得を支援する
 - ・こども食堂などを実施する
 - ・親子が触れ合える行事を実施する など
- 実行した取り組みの発信
 - SNS（Instagram、Facebook、X、YouTube）
 - #こどもまんなかやってみた
 - #吉野川市こどもまんなか をつけて発信します。
 - ※発信内容はこども家庭庁や市がシェアすることがあります。

市ホームページ
二次元コード

●問い合わせ こども未来課 ☎22-2266 FAX22-2245

持続可能な地域づくりと市役所の変革

【継続】新ごみ処理施設整備事業
7億6,687万4千円

安心・安全で、安定的に処理することのできる新ごみ処理施設の整備を進めています。竣工は令和7年10月末の予定です。

【新規】ごみ処理施設運営事業
1億4,183万2千円

新しいごみ処理施設の管理を民間企業に委託し、安定した運営を行います。



安心・安全なまちづくりの拡大

【新規】相談員派遣事業
12万円

高齢者や介護が必要な方を対象に相談員を派遣し、危険箇所や家具の固定方法などの地震対策に関する提案を行います。

【新規】減災化対策支援事業
116万円

相談員派遣事業で指摘された危険箇所について家具の固定などの対策を実施した場合、費用の一部を補助します。また、あわせて感震ブレーカーを設置する場合は設置にかかる費用を補助します。



特別会計

会 計 名	予 算 額
国民健康保険特別会計	44億7,753万2千円
介護保険特別会計	60億242万1千円
後期高齢者医療特別会計	7億8,146万1千円

市には、一般会計とは別に、特定の事業を処理するための会計があります。
国民健康保険や介護保険などがこれにあたり、一般会計とは別に特別会計と言われます。
また、一般会計、特別会計以外に、独立採算を原則とし、企業的な事業を行う水道事業会計などがあります。
各会計の予算額は次のとおりです。

企業会計

会 計 名			予 算 額
水道事業会計	収益的収入および支出	収 入	6億7,150万1千円
		支 出	6億9,518万9千円
	資本的収入および支出	収 入	4億49万1千円
		支 出	6億4,278万2千円
下水道事業会計	収益的収入および支出	収 入	11億6,692万9千円
		支 出	11億6,492万6千円
	資本的収入および支出	収 入	11億1,736万5千円
		支 出	15億4,449万4千円



●問い合わせ 財務課 ☎22-2221 FAX22-2244

